

都市再生整備計画

ちゅうしんきょてんちく
中心拠点地区

いしかわけん わじまし
石川県 輪島市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	石川県	市町村名	わがまし 輪島市	地区名	ちやうしんきよてんちく 中心拠点地区	面積	186.4 ha
計画期間	令和 7 年度 ～ 令和 11 年度	交付期間	令和 7 年度 ～ 令和 11 年度				

目標

大目標：『もとよりもっと 新・輪島』 ～みんなでつなぐ復興まちづくり計画～
目標1：被災者の生活再建
目標2：地域を支える生業の再興
目標3：新たなまちへの再生
※輪島市復興まちづくり計画の実現に向けて、同計画と同じ目標設定を行う。

目標設定の根拠

都市全体の再編方針（都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針）
輪島市の復興まちづくり計画において、これまで都市計画マスタープランや立地適正化計画等において目指してきた都市構造を踏まえつつ、将来にわたり安全・安心で持続可能な都市の構築を目指し、「ゾーン」「都市拠点」「都市軸」からなる将来都市像を設定する。
■基本的な考え方
・輪島・門前・町野の市街地（拠点）は行政が中心となり住まいや日常生活に必要な機能等を確保。
・各地区において安心して暮らせるよう、公民館を核としたコミュニティを再建。
・各集落においても復旧を進め、現地再建を支援していくとともに、各家庭・地域での話し合いを通じて、災害リスクや孤立可能性の高いエリア等から拠点や安全な集落への移転を支援。（必要に応じて災害リスクの高い危険なエリアとして施設立地・建築規制を検討）
・復興まちづくりの中で、観光・産業の拠点施設や民間活力による官民複合施設の整備、市全域での生活再建における居住地等の集約など、都市機能の拡散防止と利便性確保を図る上で、市有地や民間所有の低未利用地の有効活用を見据える。

まちづくりの経緯及び現況

令和6年元日に本市を襲った「令和6年能登半島地震」及び令和6年9月に発生した「令和6年奥能登豪雨」の二重災害は、市全域に未曾有の壊滅的な被害をもたらした。この状況を克服するべく、これから復興に向けた新たな挑戦、「創造的復興」を始める。この創造的復興は、輪島塗、観光、農林漁業などの産業や、これまで培ってきた伝統や文化、景観など地域の財産を後世に継承するとともに、これまでにできなかった新しい取組にも積極的に挑戦していくもの。
復興まちづくり計画において、震災をきっかけにこれまで以上に魅力的で、豊かで、安心して暮らせるまちをどのように創っていくかについて、多様な選択肢を示しつつ市民の皆様の声を計画に反映する。発災以降の市民の皆様様の様々な想いに耳を傾けながら、10年・20年先の未来を見据え、市民の皆様と共に、復興に向けてチャレンジし、震災前よりもっと魅力的で、安心して暮らせる輪島市を創りあげるべく取り組んでいる。
輪島市中心市街地では、輪島市復興まちづくり計画のシンボルプロジェクトとして定められた「輪島朝市周辺再生プロジェクト」の実施を予定している。輪島市街地における生活再建等の取組の中で、地震及び火災で甚大な被害を受けた朝市周辺を輪島市における復興のシンボルとして再建し、防災対策を強化しながら朝市と商店街及び住まいの共生を目指した市街地整備を行う。また、新たなチャレンジや交流を促進して、新しいまちとして生まれ変わるための環境整備及び支援を行う方針である。
中心拠点地区（以下、「当地区」という。）は、輪島市の中心として市街地ゾーン（中心拠点）に位置し、早期のインフラ復旧や公共インフラの強靱化の推進、安全・安心で多様な暮らしを選択できる住まいや住環境の整備、行政サービスをはじめ日常生活の利便性の高い市街地のとして都市機能の再構築を図るべき地区である。
●経緯
2012年6月 輪島市都市計画マスタープラン策定
2022年3月 第2次輪島市総合計画（後期基本計画）
2024年1月 令和6年能登半島地震発災
2024年3月 輪島市立地適正化計画改定
2024年9月 令和6年奥能登豪雨発災
2025年2月 輪島市復興まちづくり計画策定
2025年3月 輪島市立地適正化計画改定

課題

・災害による住まいの困窮や日常生活の変化、地域コミュニティの低下、子育て環境の低下や若年人口流出の加速化など、被災者の生活再建に向けて都市構造の再編と共に、基盤整備を含む復興事業の実施が、被災者の生活再建に向けた対応が必要である。
・観光資源の被災や観光入込客数の減少、事業環境の低下や雇用の喪失、火災や家屋の解体による都市機能の低下など、地域を支える生業の再興に向けた対応が必要である。
・過疎地域における、生活拠点の変化や避難生活の長期化、想定外の大災害への対応等に備え、集落・地域全体を含めた持続可能性を支える拠点づくりを行い、新たなまちへの再生に向けた対応が必要である。

将来ビジョン（中長期）
①輪島市復興まちづくり計画（令和6年度策定）
1. 被災者の生活再建
・1-1 被災者に寄り添った生活支援と住まいの再建
・1-2 日常生活を支える地域コミュニティの再建
・1-3 子供・若者に向けた支援
2. 地域を支える生業の再興
・2-1 地域の伝統文化や自然景観等観光資源の再興
・2-2 農林水産業（里山里海）の再興
・2-3 持続可能な地域経済の再興
3. 新たなまちへの再生
・3-1 都市の将来像を念頭に置いた市街地の再生
・3-2 地域の自立と持続可能性を支えるまちづくりの推進
・3-3 防災力の向上と次世代への継承

■復興に向けたシンボル・重点プロジェクト
・シンボルプロジェクト
「輪島朝市周辺再生プロジェクト」
・重点プロジェクト
「①魅力ある住まいと拠点づくりプロジェクト」
「②ひとと自然が育む子ども・子育て応援プロジェクト」
「③まちの活力を高める商店街・観光再興プロジェクト」
「④輪島塗をはじめとした伝統産業・伝統文化再興プロジェクト」
「⑤輪島の恵みを取り戻すみなと復興プロジェクト」

都市構造再編集集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

・市全域のゾーニングとして、「市街地ゾーン、集落ゾーン、自然環境ゾーン」を位置づけており、当地区は市街地ゾーンに位置し、早期のインフラ復旧や公共インフラの強化の推進、安全・安心で多様な暮らしを選択できる住まいや住環境の整備、行政サービスをはじめ日常生活の利便性の高い市街地の再構築を図る。

・当地区は、主要な都市機能の配置を行う中心拠点（輪島市の中心市街地を含む）に該当し、「朝市と商店街、住まいの共生を目指した面的な市街地整備」、「伝統文化と新たな魅力が共存し、魅力と賑わいあふれる空間整備」を図る。

・また、輪島港・マリンタウンの周辺においては、広域交流拠点として、広域的な都市機能や港湾機能の再整備による、広域的な連携・交流・観光・産業の拠点としての活用を推進する。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

・復興を機に、区域内の中心市街地に統合小学校を整備し、少子化対策や耐震・耐水による安全安心の確保、維持管理等の効率化を図るとともに、他の都市機能と一体となった機能充実、通学者や施設利用者の利便性の向上を図る。

・図書館をバスターミナルと隣接した旧商業施設跡地（輪島公民館、文化会館周辺）に立地誘導する。

・これらの整備と併せて、統合後の小学校跡地の活用や、本誘導施設周辺への機能集約による市の都市機能再編を図ることで、利便性の向上に伴う周辺の立地誘導や賑わい再生につなげ、将来的な地区内における空き地空き家の抑制・利活用促進を図る。

居住誘導方針の考え方

・震災・豪雨等の災害発生やリスクを踏まえ、ハザードエリアや土砂災害等被災箇所の存在する集落ゾーン等を含む居住誘導区域外から市内の居住誘導区域へ移転する者に対して補助を行うことで、都市機能や生活利便性等の維持を図る。

面積要件（居住誘導区域163.4ha / 用途地域334.0ha ≒48.93%≧50%）

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

・災害公営住宅整備事業

・都市防災総合推進事業

目標を定量化する指標

指 標		単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
輪島市街地（居住誘導区域内）における住宅再建の進捗		%	居住誘導区域内の公費解体世帯数（分母）に対し、着工・建築確認申請した住宅戸数（分子）の割合	目標1について、被災者の住まい等の生活再建や街並みの再生の取組の5年間での進捗と、持続可能な都市構造の構築を住宅着工数で評価する。	0%	R6年度	50%	R11年度
都市機能誘導区域における地価下落の抑制		%	都市機能誘導区域における地価の比較（国地価公示または県土地価格調査の対前年比）	目標2について、生業の再興等の取組により、輪島市街地を中心とした魅力ある空間・交流拠点の創出・運営、市外からの観光回復等がもたらす、エリア価値の向上を地価の維持で評価する。 ※旧整備計画H29時点と同等に抑制、従前値はR6国地価公示より	-4.8%	R6年度	-1.5%	R11年度
居住誘導区域内の人口密度の維持		人/ha	居住誘導区域内における人口密度	目標3について、新たなまちへの再生に取り組み、人口減少が想定される中でであっても、輪島市街地の生活環境整備や住宅再建・公営住宅整備により、居住誘導や都市の持続性を一定の人口密度の維持で評価する。 ※立地適正化計画R7.3目標値と同様	39.9人/ha	R2年度	32.0人/ha	R11年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【方針1 被災者の生活支援と住まいの再建】 ・基盤整備、敷地整序や土地の集約による拠点や公営住宅用地等の確保による機能集約 ・朝市と商店街、住まいの共生を目指した面的な市街地整備 ・被災者の住まいの確保・再建支援	【関連事業】（土地区画整理事業）（仮）本町周辺地区被災市街地復興土地区画整理事業 【関連事業】（土地区画整理事業）（仮）本町周辺地区緊急防災空地整備事業 【基幹事業】（中心拠点誘導施設：教育文化施設）（仮）輪島市統合小学校事業 【基幹事業】（中心拠点誘導施設：教育文化施設）（仮）輪島図書館事業 【基幹事業】（高次都市施設）（仮）輪島地域交流センター事業（地域交流） 【基幹事業】（高次都市施設）（仮）輪島地域交流センター事業（子育て支援） 【提案事業】（地域創造支援事業）中心拠点定住推進事業 【関連事業】（災害公営住宅整備事業）災害公営住宅整備事業 【居住誘導促進事業】輪島市居住誘導促進事業
【方針2 観光・地域経済の再興】 ・観光等の拠点となる、地域産業・文化を活かした施設整備と、施設を有効活用した官民で取り組む多様な事業・施策の場づくり	【基幹事業】（高次都市施設）（仮）輪島観光センター事業 【基幹事業】（高質空間形成施設）緑化施設・舗装等整備事業
【方針3 防災力向上や市街地の再生】 ・伝統文化と新たな魅力が共存し、魅力と賑わいあふれる、憩い・待合い等のための滞留空間や交流拠点としてのシンボル性を表現した空間形成（各地域に人・モノ・情報の交流拠点を整備） ・利便性向上のためのサービス機能集約や交流拠点到にふさわしい新規機能導入（情報提供機能の充実等）	【基幹事業】（地域生活基盤施設）広場整備事業 【基幹事業】（道路）新規路線整備事業（本町周辺） 【基幹事業】（高質空間形成施設）電線類地下埋設施設等整備事業 【基幹事業】（高次都市施設）（仮）輪島地域交流センター事業（地域交流）※再掲 【関連事業】（土地区画整理事業）（仮）本町周辺地区被災市街地復興土地区画整理事業※再掲 【関連事業】（都市防災総合推進事業：被災地における復興まちづくり総合支援事業）復興に向けた公共施設等整備（仮）輪島消防署防災拠点整備事業
【方針4 みんなでつなぐ復興まちづくり計画】 ・復興事業実現に向けた検討や官民協働の取組の継続	【基幹事業】（エリア価値向上整備事業）地区まちづくり計画提案支援事業 【提案事業】（事業活用調査）輪島市街地復興まちづくり検討事業 【提案事業】（事業活用調査）事業効果分析・事後評価調査
その他	
【これまでの官民協働の取組】 ○わじま未来トーク（輪島市内3箇所で開催） ・輪島市復興まちづくり計画策定に向けて、住民参加型ワークショップの開催 市街地区[輪島市消防署]、西部地区[門前東小学校]、東部地区[町野小学校] 第1回：令和6年6月15～16日 第2回：令和6年8月10～11日 ○民間団体の活動状況 【朝市】輪島朝市の特徴を活かした施設整備構想 ・本町商店街振興組合、輪島朝市組合の若手メンバー等により、輪島朝市の特徴を活かした新たな構想を策定 令和6年8月9日検討会において、組合などに3つの復興案を提出し、輪島市復興まちづくり計画への反映 【輪島】輪島塗若手ネットワーク ・輪島塗の伝統産業衰退という課題解決を目指す （仮）輪島塗復興検討協議会の設立、復興計画の策定・実行、輪島市復興まちづくり計画との連携 等 【輪島】JC（一般社団法人、輪島青年会議所） ・持続可能なまちづくりに向け、青少年の育成とまちの活性を目指す 発災前から継続的に防災訓練や災害研修、ボランティア活動の実施 発災後は、ボランティアセンターの設置や物資供給・炊き出し活動、青少年向け事業等を行う 【門前】総持寺通り協同組合 ・「商店街再生 禪の里に再び元気を」門前に住む人たちが楽しいと思える町づくりに向けた活動 令和6年2月14日 門前未来づくり振興会 発足 【町野】町野復興プロジェクト実行委員会 ・将来的な関係人口の拡大に向け、イベントだけでなく事業としてのまちづくりを目指す 令和6年2月設立 ○住民懇談会（輪島市内7箇所で開催）：令和6年8月17～29日及び11月2～10日 ○（仮称）輪島市本町周辺地区まちづくり協議会 ・「災害からの復興」および「住みよい地域環境をつくる」ことを目的に、地区により設立された住民組織 まちづくり協議会の設立、計画案の合議 等	

様式(1)-④-1

「都市構造再編集中支援事業」を活用の場合、本様式を使用すること

...A

...A

合什市登册

本月电费	100
本月水费	50
本月电话费	20
本月有线电视费	10
本月燃气费	30
本月物业费	100
本月其他费用	0
合计	310

都市再生整備計画区域

都市機能誘導区域

居住誘導区域

用途地域

- 第一種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 準工業地域

都市再生整備計画の区域

国道

主要地方道(県道)

官公庁

主な公共施設等

● 鳳至小学校

● 河井小学校

● 道の駅輪島

● 輪島市文化会館

● 輪島市役所

国道249号

国道249号

国道249号

国道1号

輪島バス

0 250 500 1000メートル

N